

はさみ

議会だより

No.133

平成28年2月号



だいがいちばん早かった？(昭和おもしろあそび塾)

12月定例会

- 国民健康保険事業特別会計繰出金など
1億4600万円を追加(一般会計補正予算)P2
- 未来を担う子どもたちの教育を守る請願を採択P3
- 町政に対する一般質問 -6人が登壇-P4

委員会レポートP8

もくじ

12月 定例会

平成27年第4回定例会が4日間の日程で開かれました。

27年度補正予算など6件が上程され、審議の結果、すべて可決されました。
一般質問では、6議員が登壇し、町政に対する意見を述べました。



一般会計補正予算 1億4600万円を追加

歳出	主な内容
民生費 5,284万円	国保会計への繰出金、障害者福祉費扶助費ほか
農林水産業費 4,419万円	改善センターホール冷房機改修関係費ほか
土木費 △4,437万円	前倒し施工による町営住宅改修費の減
教育費 4,224万円	体育センター床改修工事ほか
災害復旧費 2,755万円	普通河川村木川災害復旧工事費の増
その他 2,355万円	中小企業振興資金貸付金の増ほか
合計 1億4,600万円	

質疑応答

Q 改善センターは25年に冷房機を改修しているが、今回の改修の実態は。

A 25年は部分的な改修であり、今回は既に35年が経過し、各所にひずみが生じてきているため、本体そのものを替えざるを得なくなった。

Q 川内・甲長野・平野である。

Q ふるさと納税が700万円増額しているが、現在何件の寄附が集まっているのか。最高額は。

A 527件778万円であり、10万円以上の寄附者が2名いる。

Q 旧金山跡地工事について、危ない箇所を見つけた経緯は。今後はもうないのか。

A 毎年国に報告義務があり、補修した箇所を含めて現状を確認している。

Q 農地集積協力事業補助金の8地域とはどこか。

A 田ノ頭駄野地区のほか、村木・岳辺田・志折・湯無田・

Q 地域おこし協力隊報酬について、18万円増額の説明を。

A 移住・定住を促進して人口増を図るため、新たに1名募集し、空き家対策を重点的に取り組む考えである。

※お詫び
議会だより平成27年11月第132号で第3回定例会の日程を25日間としていましたが16日間の誤りでした。

請 願

未来を担う子どもたちの教育を守る義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願を採択

教育の機会均等、教育水準の維持・向上を図るため、義務教育費国庫負担率を3分の1から2分の1に復元することを含め、少人数学級などの定数改善を図り、必要な財源が将来にわたり確実に確保されることを求める請願書が提出され、全会一致で可決されました。

条 例

●波佐見町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例制定

マイナンバー法施行に基づき、個人番号の波佐見町での利用範囲を条例で定めるものです。

●波佐見町公共下水道条例の一部改正

下水道施行令の一部改正により、排水基準のトリクロロエチレンの基準が0.1リットルあたり0.1ミリグラムに引き下げられました。

長崎県行政不服審査会の共同設置

平成28年度施行の行政不服審査法で、地方公共団体でも付属機関として行政不服審査会を設置するものとなっているため、県内18団体（7市6町5組合）で共同設置するものです。

●共同設置団体

平戸市、松浦市、対馬市、壱岐市、西海市、雲仙市、南島原市、東彼杵町、川棚町、波佐見町、小値賀町、佐々町、新上五島町、東彼地区保健福祉組合、雲仙・南島原保健組合、南高北部環境衛生組合、北松北部環境組合、長崎県市町村総合事務組合

第4回(12月)定例会

賛 否 表

主な議案

○賛成 ●反対 -は欠席

議案番号	議 案	議決の結果	表決数 賛成:反対	議席番号													
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
73	平成27年度波佐見町一般会計補正予算(第3号)	可 決	12:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
74	平成27年度波佐見町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	可 決	12:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
75	平成27年度波佐見町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可 決	12:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
76	波佐見町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例	可 決	12:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
77	波佐見町公共下水道条例の一部を改正する条例	可 決	12:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
78	長崎県市町村行政不服審査会の共同設置について	可 決	12:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

町政に対する一般質問

6人が登壇



一般質問とは

町の行財政全般にわたり、議員主導の政策議論をするものです。政策をよりよいものにするため、一般質問によって執行機関への疑問点をただし、事実関係を明らかにすることで、政治姿勢や政治責任を明確にすることが目的です。

事前通告制が採用され、制限時間は1人あたり60分。1回目の質問を一括して行い、2回目以降は一問一答式で行います。

<もくじ>

	議員名	内容
5 ページ	古川 千秋	○健康づくり運動の推進について ○本町農業の成長産業化への取り組みについて
	太田 一彦	○本町の教育行政について ○まちづくりについて
6 ページ	藤川 法男	○将来的な人口減少対策について ○今後の交流人口の拡大対策について
	百武 辰美	○公共施設等総合管理計画について ○建設工事の入札制度について
7 ページ	尾上 和孝	○町営住宅について ○町道沿いの雑草対策について ○波佐見・有田インターチェンジ駐車場の有料化について
	石峰 実	○地方版総合戦略における人口減少対策等の取り組みについて ○第6次行政改革大綱の推進状況等について ○町内周辺部の町道等の道路改良整備促進について



◎健康づくりで充実した人生を
◎わが町の農業を成長産業へ

古川 千秋 議員

問 健康寿命を延ばし、充実した人生を送るため、ポイント制(点数)などを設けた健康づくり運動に取り組む考えはないか。

町長 健康管理や疾病予防にかかる被保険者の自助努力の支援として、ポイント制による健康づくり事業への取り組みを検討する。

健康推進課長 今年度中からポイント制を始めてみたいと考えている。

問 後継者対策として、農業大学校への入校奨励と卒業後の本町農業への就農者に支援する制度の創設はできないか。

町長 入校奨励と地元就業助成制度は、後継者不足の現状から有効な施策と考える。まず魅力ある農業経営の環境づくりが不可欠で、若者が夢を持てる農業農村環境の整備に努めたい。

農林課長 大村市では新規就農チャレンジ事業があり、農大を卒業後に地元で就農すると対象年齢が55歳未満で、年15万円の給付金という制度がある。

本町もこのような制度が

可能か、今後状況を見ながら検討したい。

問 地域農業を支えるため、町独自の農業支援制度等の創設と拡充はできないか。

町長 意欲ある若い人材を確保するため、町内外を問わず広く門戸を開く必要から、受け入れ態勢の整備や支援策等についても検討して行く。

また、施設整備や機械購入、基盤整備への支援は、国・県の補助事業を活用して、農業の近代化や生産性向上、農家経営の安定化を図ってきている。

6次産業化商品の販路拡大や棚田米のブランド化については、地域おこし協力隊を中心に新たな加工品の発掘やブランド化を進めている。さらに関係機関との連携を強化し、取り組んで行く。

農業法人等の育成指導と営農指導体制の強化については、定期的な研修会を開催するなど、育成支援に取り組んでいる。また、農業振興会を通じて、県・農協などと連携し、栽培技術や生産性向上に努めている。

一般質問



◎新たな教育「笑育」とは
◎役場庁舎建替えは必要か

太田 一彦 議員

問 11月に3小学校で「笑育」が実施されたが、その内容と成果、今後の取り組みは。

教育長 子ども一人ひとりにコミュニケーションの育成を図ることに重点を置き、その育成手段の一つとして、プロ漫才師や構成作家等による出前授業を行い、瞬時の発想力などを学ぶ。また、それを発表した。また、それを発表した。また、それを発表した。

が考えた面白いことを人前できちんと表現する力、他人の思いつかない面白いことを創造する力等を、身につけさせるとして新たな教育。その成果として、特に印象的だったことは、笑いによって学級に明るい生き生きとした雰囲気が生まれ、子供たちの学習への参加意識や学級への所属意識が高まったこと。

また、人間関係づくりによい影響をもたらすという面でもよりよい効果があること。そのような楽しく明るい学級をつくることで、いじめや不登校の防止にもつながるのではということに大きな期待感も持った。

今回の貴重な体験学習を基本とし、毎年継続して実施していく。

実施していく。

問 庁舎建替えが計画されているが、もつと住民の幅広い意見を聞く場を設け、建設計画を策定するべきではないか。

町長 本町の庁舎は、建築後50年以上経過しているため老朽化が進んでいることや、耐震基準を大きく下回っていることから、平成23年12月に庁舎建設基金を設置し、新たな庁舎建設に向けて積立てを行っている。

26年度に役場職員による「庁舎建設内部検討委員会」を設置し、検討を始めた。

今年度からは町内の各種団体の代表者や知識経験者、公募した委員による「波佐見町庁舎建設検討委員会」を開催し、検討を進めている。

この検討委員会を開催していきながら、その過程において、少子高齢化や人口減少の問題等も十分考慮しながら、建設位置や建てえだけではない方法等も含め、住民の意見を聞く場を設けて、委員会の協議に反映していきたい。

◎ どうする、社協事業への支援
◎ 庁舎建設の軽減策を示せ



藤川 法男 議員

問 将来、人口減少による財源不足が懸念されるが増大する介護事業などの歳出抑制対策はあるのか。

町長 地域包括支援センターが中心となり、訪問介護訪問リハビリ、薬剤指導などの在宅医療サービスの普及促進に努める。

問 社会福祉協議会は、町委託事業など多岐にわたる中、人材や事業費不足が指摘されている。その対策は。

町長 今以上に事業規模が増加すると将来的に事業継続が非常に困難と考える。職員体制や事業予算に対するの負担軽減、事業縮小や撤退など全ての社会事業を見直す時期にきている。

また、地域ボランティアなどの関係機関と連携協議し、無理のない社会福祉の推進体制づくりを求めたい。

問 旧講堂や歴史文化交流館(仮)の建設費合計が、約5億円以上で、それに加え庁舎建設も計画されている。建設費や維持費など軽減は。

町長 歴史文化交流館(仮)

は、建設検討委員会で検討されているが、極力、建設費及び維持費を考慮したい。役場庁舎建設においては将来人口減少を考慮し、波佐見町庁舎建設検討委員会や議会の意見、更に公聴の場など設置し、町の規模に見合った庁舎建設を検討する。



老人クラブ連合会ほか3団体のボランティアで行うふれあい運動会

◎ 公共施設等総合管理計画とは
◎ 建設工事の入札のランダム化は



百武 辰美 議員

問 国は地方版総合戦略と並んで地方公共団体へ公共施設等総合管理計画の策定を求めているがその内容は。

町長 今後、人口減少等により公共施設等の利用需要が変化していくことが予想される。公共施設等の全体の状況を把握し、長期的な視点を持って、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに公共施設等の最適な配置を実現することが必要である。

問 策定に当たったのタイムスケジュールは。

町長 今後、公会計制度の見直しが行われるため、町が所有する土地・建物・道路等の資産について台帳を整備している。

問 現在、計画のある公共施設等の建設計画との

整合性は。

町長 新たな公共施設の計画については、現存する施設との関係性を十分に図りながら進めていく。

問 建設工事の入札制度において、町発注工事の予定価格及び最低制限価格のランダム化については25年度に試行実施された経緯があるが、ランダム化の導入はどのように考えているのか。

また、ランダム化導入のメリット・デメリットは。

町長 ランダム化については、対象となる工事、予定価格及び最低制限価格について使用するランダム係数の変動範囲について検討し、28年度から実施したい。

入札執行者としては、準備や入札自体に時間を要することがデメリットではないかと考える。また、今年度執行した入札において、同額で入札されたためくじ引きにより決定したものが12件あったが、ランダム化することにより、くじ引きとなる可能性はかなり低くなると思う。

◎町営住宅のトイレを改善せよ
◎雑草対策に防草シートを



尾上 和孝 議員

問 町営住宅はトイレ等の住環境は整っているのか。

町長 町営住宅10団地のうち水洗化された団地が5団地の232戸であり、残り5団地82戸はくみ取り式となっている。改修が必要なことは理解している。今後は、波佐見町公営住宅長寿命化計画及び振興実施計画に基づいた中での整備を図ってきたい。

町長 防草シートは、改良工事とあわせて行う。必要最小限の対策については検討したい。

問 波佐見有田インターチェンジの駐車場を有料化するよう質問していたが、どのように検討されているのか。

町長 調査研究すべき課題も多く、当面は利用者の利便性や今後の維持管理の状況等を考慮しながら、現状のまま無料で開放しながら推移を見守っていききたい。

建設課長 長寿命化計画の中で、水洗化を一部おこなう予定である。財政面との調整を図りながら今後進める。

問 昭和40年代に建てられた建物が5カ所ある。建て替え計画は。

建設課長 現在、10年のうちに建て替えをする計画をしているのは、現在のところ小石原だけである。

問 町道沿いの路肩や法面

などに雑草が生い茂り、美観を損ねている。できることから段階的に防草シートを張れないか。

町長 防草シートは、改良工事とあわせて行う。必要最小限の対策については検討したい。

問 波佐見有田インターチェンジの駐車場を有料化するよう質問していたが、どのように検討されているのか。

町長 調査研究すべき課題も多く、当面は利用者の利便性や今後の維持管理の状況等を考慮しながら、現状のまま無料で開放しながら推移を見守っていききたい。



くみ取り式の町営住宅トイレ

◎波佐見版総合戦略の具体的施策は
◎職員の地域担当制を今後どう進めるのか



石峰 実 議員

問 波佐見版総合戦略では現状と課題をどう捉え、2060年の目標人口はどの程度に予測したのか。

町長 地方創生では就労の場を創出し、結婚、子育ての希望を実現する施策が重要だ。合計特殊出生率は現在1.68だが、社人研の推計では45年後に9821人となり、人口移動がゼロと仮定すると12109人と予測されている。

問 少子化や人口流出を最小限に留めるため、子育て中の世代が望む屋内遊戯場の設置など具体的支援策を計画にどう盛り込むのか。

町長 まち・ひと・しごと創生推進協議会で議論し、町独自の総合戦略策定について協議している。子育て世代の意見を取り入れた戦略を策定し、元気な町にしたい。

問 第6次行革大綱に基づき、取り組みが進められているがこれらの進捗状況は。また、職員の地域担当制は今後どう進めるのか。

町長 4月に大綱と実施計画を策定したが、現時点で進捗状況は掴んでいない。6割

7割の項目がまだ実施段階で、まずまずと思っている。近年職員の資質向上、意識改革のためにも地域担当制度は有用なものとして認識しているが、課題もある。地域や自治会側の意向を踏まえ、その結果で制度創設の可否等を検討したい。

問 町内周辺部の町道等は、車の離合や通行にも支障を来しているところが多い。今後、改良整備をどう進めていくのか。また、防護柵等の未整備個所の対応は。

町長 町道として301路線、総延長で147kmを管理しており、改良の整備率が47%の状況だ。各地域の要望も多く、継続路線や緊急性の高いところを優先的に進めている。

今後は維持管理的な予算がウエイトを占めてくる。周辺部の町道はこれまで一部改良やカーブミラー等の設置を進めてきた。要望された未着手路線は総合的に判断し、振興実施計画に基づき進めていく。交通安全施設等は、危険度や緊急度も判断しながら必要に応じ補正予算等で追加実施していく。

一般質問

総務文教委員会

◆「未来を担う子どもたちの教育を守る義務教育国庫負担制度の堅持を求める請願」を採択

10月6日、9月定例議会において付託された、当案件を委員会において請願者と紹介議員の出席を求め、請願内容の説明を受け、十分な審議を行った結果、全会一致で採択することと決定した。

◆「ケーブルテレビのインフラを活用した防災行政システムの調査・研究」に早期に取り組む

10月27日、総務課所管の次項の調査を行った。

①自治会未加入者に対する町情報の周知について

本件については、数回にわたり調査を行ってきた。未加入者に対する広報紙等の配布は、更なる未加入者を増やす要因も考慮されることや未加入者に対する自治会の役割もある事などから、諸問題に対し行政側として論議を深め、検討するように申し入れた。

②防災行政無線と郷自治会有線放送システムの完全無線化について

現在、整備が進められている「波佐見ケー

ブルテレビ」の業者から、ケーブルテレビのインフラを活用した防災行政システムを検討してはとの提案があった。

経費を含め、無線方式とケーブル方式を並行して調査・研究し、特にケーブル方式については、庁内で早期に検討結果を取りまとめることとあった。

③マイナンバー制度の取り組み状況について
広報紙や放送に置いて周知している。本町内には、11月中旬以降に配達される予定である。

④第6次波佐見町行政改革大綱実施計画の取り組み状況について

大綱策定を踏まえ実施計画に取り組んでいる状況。

本町において行政改革は、永遠のテーマということ、今後も各年度の実施状況を各課ヒヤリングを行ない、成果等の把握に努める。

◆活躍する地域おこし協力隊

11月13日、企画財政課所管の次項の調査を行った。

①波佐見町地域振興事業の補助対象拡充について

対象事業のなかでも、有線放送設備改修などは各自治会の喫緊の課題で、自治会の財源面では大きな負担である。

この事業制度は、町においても見直しを行ってきたが、更に自治会からは、補助率アップの話があり、慎重に検討していく。

②地域づくり事業（地域おこし協力隊の活動等）について

焼き物をベースに、ものづくりやパンフレット、イベントのポスター製作など、ものづくりに視点を置いた情報発信、空き工場などの新たな活用や自らのキャラを發揮し、長崎・福岡などのテレビ局に幅広く、町のPRを周知している。また、農産加工品や農業に携わるひとをピックアップして「Kinin・Note」を製作し、情報発信を行っている。

隊員の3名は期待以上の活躍をしている。3年間の任期終了後ため町のため能力を發揮できる場の検討が必要と考える。

◆その他の調査事項

- ・小規模工事等の請負業者登録制度について
- ・波佐見町定住促進事業について
- ・波佐見町まち・ひと・しごと創生総合戦略について

委員会

産業厚生委員会

◆平成27年度町道改良・舗装工事計画 及び実施状況調査

10月7日、町道5路線（南部線・狩立線・金屋本線・桑の木線・孟宗谷線）について調査を行った。

調査をした場所は、新興住宅に接する路線の拡幅工事や水害などで危険性の高い箇所
の改良工事であり、緊急性が高く住民にとっても切実な問題が多い線であった。



南部線における現地視察

レポート

また、今回調査した以外にも多くの町道整備の要望があるが、特に、中学校・小学校に隣接している町道の道幅は狭く危険性が高い。
道路改良工事などの予算不足や諸問題もあるが早期の解決が望まれる。

◆社会福祉協議会への町の委託事業について調査

町から社協への27年度福祉事業補助金 21,068千円

内 訳	社会福祉協議会運営事業費(人件費)	18,945千円
	地域福祉推進事業費(活動費)	1,300千円
	心配事相談所事業費	145千円
	手話奉仕員要請講座事業費	118千円
	波佐見町老人クラブ連合会に運営事業費	240千円
	活動促進特別事業費	200千円
	老人スポーツ振興事業費	90千円
	長崎県ねりんピック大会費	30千円

社会福祉協議会は、障害者福祉事業、訪問介護事業、心配ごと相談事業などを行っており、多岐にわたっている。現在、職員3名、就労支援員1名、ヘルパー17名、ケアマネージャー3名、管理人1名で運営している。

現在、男性の平均寿命は80歳、女性が86歳をこえる時代であり、高齢者が生きがいを持ち、健康寿命を保つ事業「ふれあいきいきサロン事業」などは、積極的に外出、会食を通じていきいきと暮らし介護予防にも繋がる事業で将来的にも重要である。

しかし、今後、各種事業が多く増加する傾向にあり、それと共に各事業に対し人材不足、予算不足は否めない。

町委託事業（自治会共同事業）など、どのように推進し展開させるのか方向性を定める必要がある。



ふれあいきいきサロン
(湯無田郷 幼楽園)

議員活動報告

- 11 月**
- 1日 はさみ炎まつり
 - 第38回波佐見少年剣道大会
 - 第10回めし碗グランプリ展表彰式
 - 3日 身体障害者福祉会レクリエーションスポーツ大会
 - 5日 第60回長崎県美術展覧会移動展
 - 6日 ひさご荘ふれあいまつり(川棚町)
 - 7日 第31回東京波佐見会郷寄り総会・懇親会(東京都)
 - 11日 第59回町村議会議長会全国大会(東京都)
 - 12日 第24回老人クラブ連合会グラウンドゴルフ大会
 - 13日 総務文教委員会
 - 15日 第13回はさみ林道マラソン
 - 16日 議員全員協議会
 - 19日 知事への陳情活動(長崎市)
 - 長崎県町村議会議長会(正・副議長及び局長研修会(長崎市))
 - 20日 東彼杵郡内議員研修会(東彼杵町)
 - 波佐見中学校創立40周年記念式典
 - 23日 町民表彰式
 - 障害者スポーツ教室
 - 24日 議会運営委員会
 - 25日 西九州自動車道路建設促進期成会提案活動(長崎市)
 - 東彼杵道路建設促進期成会要望活動(長崎市)
 - 26日 老人クラブ連合会結成50周年記念大会
 - 27日 長崎県町村議会議長会議(川棚町)
- 12 月**
- 2日 議会運営委員会
 - 8日 町議会第4回定例会(〜11日)
 - 11日 議会広報調査特別委員会

- 1 月**
- 8日 総務文教委員会
 - 東彼杵郡監査委員協議会第3回臨時総会(東彼杵町)
 - 平成28年工業組合新春展示販売会(〜8日)
 - 10日 平成28年消防出初式
 - 第6分団小型動力ポンプ付積載車展示操法披露
 - 13日 議会広報調査特別委員会
 - 14日 議員全員協議会
 - 15日 建設業振興会新春懇談会
 - 18日 長崎県町村議会議長会行政調査(〜20日 島根県)
 - 19日 産業厚生委員会
 - 22日 平成27年度農林業活性化大会
 - 24日 第60回波佐見一周駅伝大会(大雪のため中止)
 - 25日 議会広報調査特別委員会
 - 26日 長崎県町村議会議長会議(佐々町)
 - 27日 議員全員協議会
 - 31日 生涯学習のつどい
- 12 月**
- 15日 社会福祉協議会会食のつどい
 - 16日 民生・児童委員協議会との産業厚生委員会意見交換会
 - 産業厚生委員会
 - 22日 東彼杵道路建設促進期成会要望活動(長崎市)
 - 24日 議会運営委員会
 - 東彼杵地区保健福祉組合議会12月定例会(川棚町)
 - 3日 平成28年(第68回)成人式
 - 4日 仕事始め式
 - 7日 議会運営委員会
 - 議会広報調査特別委員会
 - 東彼杵商工会新春交流会(川棚町)

平成28年第1回定例会は3月初旬からの予定です。

編集後記

1月3日、総合文化会館において14名の新成人者参加のもと成人式が開催されました。

青年の主張では、ふたりの方が壇上に立たれ、堂々たるスピーチでした。特に印象に残ったのは、親元を離れ就職し、お金の管理をしっかりとするということでした。

議会としても町のお金のチェックをしっかりと行っていきます。

町民の皆様にも広報誌などを通じ、伝えて参りたいと思います。

ご意見・ご感想をお聞かせください。

議長	長川田保則
議員	尾上和孝
委員	百武辰美
副委員長	今井泰照
委員	石峰実
委員	中尾尊行

議会広報調査特別委員会

